

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成25年11月13日(水) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】 ・「公立大学法人島根県立大学広報誌オロリン」の創刊について……………〔資料1〕</p> <p>【浜田キャンパス】 ・たけしま(竹島・麩陵島)をめぐる歴史と生活 シンポジウムについて……………〔資料2〕 ・地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考える シンポジウムについて……………〔資料3〕</p> <p>【松江キャンパス】 ・公開授業「栄養士・管理栄養士のこれまでとこれから」について……………〔資料4〕</p>
○資料提供項目	<p>【3キャンパス共通】 ・入試の状況について……………〔資料5〕</p> <p>【出雲キャンパス】 ・各種行事について……………〔資料6〕 ・防災力向上の取り組みについて……………〔資料7〕</p>
○行事予定	<p>〔入試日程〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別選抜(推薦/自己推薦) 【松江キャンパス】……………11月16日(土)～17日(日) ・全国一般推薦入試 【浜田キャンパス】……………11月23日(土)～24日(日) ・専攻科一般入試 【出雲キャンパス】……………11月30日(土) ・看護学部推薦入試 ほか 【出雲キャンパス】……………12月7日(土) ・県内一般推薦入試 【浜田キャンパス】……………12月8日(日) <p>〔その他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根国際学術シンポジウム 【浜田キャンパス】……………11月14日(木)～15日(金) ・短期大学部公開授業 【松江キャンパス】……………12月6日(金)

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200
出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525



※次回の定例記者会見は 平成25年12月11日(水) 13:30から開催します。

マスコットキャラクター「オロリン」です。

平成 25 年 11 月 13 日
公立大学法人島根県立大学
事務局 企画調整室
担当 植田
電話 0855-24-2201

「公立大学法人島根県立大学広報誌オロリン」の創刊について

公立大学法人島根県立大学ではこの度、以下のとおり広報誌を創刊・発行いたしました。今後、順次県内市町村の町内回覧等で地域の皆様にお届けいたします。

1 広報誌の目的

公立大学として教育・研究・地域連携等の各種取り組みの成果を地域に還元し、県民の皆様をはじめ地域の皆様に対してどのような大学であるかを伝え、本学により親近感を感じて頂くため。

2 掲載内容

- ・大学の取り組み紹介
- ・教育活動の紹介
- ・地域連携活動の紹介
- ・研究（教員）内容の紹介
- ・学生活動の紹介
- ・各キャンパスの情報 等を掲載

3 主な配付先

島根県内市町村の町内回覧（回覧が難しい自治体は公共施設窓口への設置）、県内高校、県内公共機関・公共施設、在学生保護者、本学関係機関

4 発行頻度・発行部数

頻度：年2回（第2号以降、5月と10月に発行予定）

部数：43,000部

5 タイトルについて

選定方法：本学学生及び教職員を対象とした学内公募により選出

命名者：総合政策学部・学生・薄井 遼 氏

命名理由：「オロリン」は、私が大学で初めて見て以来、ずっと“可愛いな”と感じているキャラクターです。そんなオロリンが色んな方に愛されるように、そして、その名前の付いた広報誌が地域の方に愛され、手にとって読んで頂けるようにとの思いからこのタイトルにしました。



マスコットキャラクター：オロリン

※オロリン とは

平成 22 年度に一般公募を行い決定した、公立大学法人島根県立大学のマスコットキャラクターです。



「たけしま（竹島・鬱陵島）をめぐる 歴史と生活シンポジウム」の開催について

1 趣 旨

島根県立大学は、北東アジア地域研究センター（NEAR センター）内の研究会組織として、2005 年 6 月に「日韓・日朝交流史研究会」を発足させて以降、その研究会を中心に学術的な立場に基づく竹島研究を支援してきました。そこでは、竹島研究に必須な国内外の史・資料の網羅的収集を行い、研究基盤の整備に努めてきたほか、韓国人研究者との研究会方式による国際共同研究を実施するなど、多角的な研究展開が図られてきました。

本シンポジウムは、こうした研究活動の延長の上に開催するものです。

周知の通り、竹島は日本・韓国がその領有権を主張する「領土」であるとともに、歴史的に見れば、その周辺海域や隣接する島嶼・地域をも含みながら、人々が行き交い、生を育んできた生活圏の一部としての側面を有する場でもありました。その歴史の過程では、もちろん、その圏域・場を利用しようとする人々の反目や衝突も見られましたが、可視的な境界がないなかでは、おおむね共生を基本とする活用が図られてきたにちがいありません。

本シンポジウムは、竹島をめぐる領有権問題に関する議論・研究の重要性を把握しつつも、それらと相互補完的な形で、生活圏としての竹島の歴史と実態に関わる議論・研究を展開しなければならないことを意識するものであり、そこに開催の意義があるものと考えています。それゆえ、シンポジウムでは、竹島の歴史的な経緯を踏まえて、竹島および鬱陵島を考察対象とし、加えてその周辺海域や隣接する島嶼・地域にまで目配りをしつつ、人々の生活に立脚した竹島像を描くものです。

2 日 時

平成25（2013）年12月7日（土）13:00～

3 場 所

島根県立大学浜田キャンパス コンベンションホール

4 主 催

島根県立大学

－プログラム(案)－

◇総合司会 李曉東 島根県立大学 北東アジア地域研究センター長

開 会

13:00～13:15

○開会挨拶 本田雄一 島根県立大学 学長

第1部：歴史から見たたけしま（竹島・鬱陵島）

13:15～14:45

- 「(仮)近世における竹島・鬱陵島」池内敏（名古屋大学教授）
- 「(仮)天保竹嶋一件に見る竹島・鬱陵島」森須和男（島根県立大学市民研究員）
- 「たけしま（竹嶋・鬱陵島）に暮らした日本人たち」福原裕二（島根県立大学准教授）

…………… 〈休憩：14:45～15:00〉 ……………

第2部：生活から見たたけしま（竹島・鬱陵島）

15:00～16:30

- 「(仮)日本海（東海）の暫定水域問題」西野正人（元日本海かにかご漁業協会会長理事）
- 「竹島・鬱陵島と漁業との関わり」安達二郎（浜田市水産業振興協会参与）
- 「(仮)西部日本海（東海）漁業の現状と課題 [実務面]」渡辺裕二（裕丸漁業生産組合専務理事）

第3部：全体総括

16:45～17:45

- 「(仮)ボーダー・スタディーズの射程」岩下明裕（北海道大学スラブ研究センター教授）
- 相互討論・質疑応答

閉 会

17:45～18:00

○閉会挨拶 飯田泰三 島根県立大学 副学長

地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考えるシンポジウムについて

1. 概要等

航空自由化がすすむなか、国による政策的配慮や航空会社の自助努力によって維持されてきた地方航空ネットワークの維持はますます厳しくなっています。このシンポジウムでは、石見空港をはじめとする地方空港運営のあり方や、地元地域に期待される役割についてみなさまとともに考えます。

2. 日時

平成 25 年 12 月 13 日（金） 14:00～17:00

3. 会場

益田市立市民学習センター（益田市元町 11-26 TEL：0856-31-0621）

4. 共催

島根県立大学、日本大学産業経営研究所、全日本空輸株式会社、島根県、益田市、
萩・石見空港利用拡大促進協議会

5. 内容

第一部：講演

- 14：10～14：25 「高速交通手段のアメニティ評価」 小巻 泰之（日本大学経済学部教授）
14：25～14：40 「空港制度改革と地方管理空港」 加藤 一誠（日本大学経済学部教授）
14：40～14：55 「地方空港の先進的な取り組み」 田村 亨（北海道大学大学院工学院教授）
14：55～15：10 「石見空港の利用実態と課題」 西藤 真一（島根県立大学総合政策学部講師）

第二部：パネルディスカッション 15：30～16：50

「地方空港に地元はどう向き合うべきか」

- パネリスト 小巻 泰之
加藤 一誠
田村 亨
富田 光欧（全日本空輸株式会社 マーケティング室ネットワーク部 部長）
平谷 伸吾（益田市副市長）
司 会 西藤 真一

※その他、詳細は別紙をご参照ください。

地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考えるシンポジウム

(共催) 島根県立大学、日本大学産業経営研究所、全日本空輸株式会社、島根県、益田市、萩・石見空港利用拡大促進協議会

日時：2013年12月13日(金) 14:00~17:00

場所：益田市立市民学習センター

住所：島根県益田市元町11番26号 TEL:0856-31-0621

(益田駅から徒歩約10分、駐車場100台収容。できる限り公共交通機関でお越しください)

入場
無料

航空自由化がすすむなか、国による政策的配慮や航空会社の自助努力によって維持されてきた地方航空ネットワークの維持はますます厳しくなっています。このシンポジウムでは、石見空港をはじめとする地方空港運営のあり方や、地元地域に期待される役割についてみなさまとともに考えてまいります。

プログラム

あいさつ

本田 雄一 (島根県立大学学長)

第一部：講演

14:10 ~ 14:25	「高速交通手段のアメニティ評価」	小巻 泰之	(日本大学経済学部教授)
14:25 ~ 14:40	「空港制度改革と地方管理空港」	加藤 一誠	(日本大学経済学部教授)
14:40 ~ 14:55	「地方空港の先進的な取り組み」	田村 亨	(北海道大学大学院工学院教授)
14:55 ~ 15:10	「石見空港の利用実態と課題」	西藤 真一	(島根県立大学総合政策学部講師)

第二部：パネルディスカッション 15:30~16:50

「地方空港に地元はどう向き合うべきか」

パネリスト	小巻 泰之
	加藤 一誠
	田村 亨
	富田 光欧 (全日本空輸株式会社 マーケティング室ネットワーク部 部長)
	平谷 伸吾 (益田市副市長)
司 会	西藤 真一

お申込み方法

Eメール(kuko-seminar@u-shimane.ac.jp)宛てにお名前、ご所属を記入して送付いただくか、裏面のFAX申込用紙に必要事項を記入のうえ送信願います。

※誠に勝手ながら、11月25日(月)を締切とさせていただきます。

特記事項

当日の受付登録は名刺を頂戴することで代えさせていただきます。できる限り名刺をご用意ください。開催要領に変更が生じた場合はあらためてご案内いたします。

【お問い合わせ先】

地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考えるシンポジウム事務局
〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

担当: 西藤真一(島根県立大学総合政策学部)

Eメール: kuko-seminar@u-shimane.ac.jp

TEL 0855-24-2264(直通) FAX 0855-24-2353



FAX:0855-24-2353

島根県立大学

シンポジウム事務局 行

地方航空ネットワークの維持と地域の役割を考えるシンポジウム

2013年12月13日(金) 14:00~

於:益田市立市民学習センター

■全ての欄にご記入ください

(ご本人様、代表者様)

ふりがな	
ご芳名	
団体名	
ご所属・役職	
ご住所	
TEL	
E-mail	

(ご本人様以外の方)

※3名以上で申し込まれる場合はコピーしてお使いください

ふりがな		ふりがな	
ご芳名		ご芳名	
ご所属・役職		ご所属・役職	
TEL		TEL	
E-mail		E-mail	

※ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理いたします。

平成 25 年 11 月 13 日 (水)

担当：健康栄養学科

名和田 清子

電話：0852-20-0233

島根県立大学短期大学部公開授業

これから栄養士になろうと思っている方、すでに管理栄養士・栄養士で活躍している方々において、管理栄養士・栄養士の専門性と今後について、社会に認められるための厳しさの中にも楽しさと充実感のある管理栄養士・栄養士像をお話していただきます。

日時 平成 25 年 12 月 6 日(金) 13:00~14:30
場所 島根県立大学短期大学部松江キャンパス大講義室
内容 「栄養士・管理栄養士のこれまでとこれから」
講師 川崎医療福祉大学副学長 中坊 幸弘

川崎医療福祉大学副学長、医療福祉学部長、医療福祉研究科長
 島根県立大学短期大学部松江キャンパス客員教授

講師ご紹介



Kawasaki University

徳島大学医学部栄養学科卒業、管理栄養士、保健学博士。

徳島大学助教授、京都府立大学教授、川崎医療福祉大学教授を得て、現職。

〈主な役職〉

「管理栄養士養成課程における教育のあり方に関する検討会」委員

「管理栄養士養成課程におけるモデルコアカリキュラム」作成委員

(第2次検討会では委員長)

「管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)改定検討会」委員

〈専門分野・研究テーマ〉

栄養学・消化管の生理・生化学、ペプチドの栄養学

問い合わせ先

島根県立大学短期大学部
 健康栄養学科 名和田
 TEL0852-20-0233

参加費無料!
 申し込み不要!



公立大学法人島根県立大学
 マスコットキャラクター



島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス



島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン

平成 26 年度島根県立大学・島根県立大学短期大学部
入学者選抜志願状況について

アドミッションセンター



平成26年度 島根県立大学総合政策学部 入学者選抜 全国一般推薦入試、県内一般推薦入試、編入学、 私費外国人留学生特別選抜 志願者状況について

島根県立大学で平成25年11月23日（土）に実施いたします総合政策学部の全国一般推薦入試、編入学、私費外国人留学生特別選抜、12月8日（日）に実施いたします総合政策学部の県内一般推薦入試の各試験の志願者の状況をお知らせいたします。

記

1. 募集人員と志願者数（総合政策学部）

区 分	募集人員	志願者数	昨年度 志願者数	昨年度 合格者数
全国一般推薦入試	30名	49名 (7名)	33名 (3名)	27名 (3名)
県内一般推薦入試	70名	62名 (62名)	59名 (59名)	56名 (56名)
編入学（一般選抜）	5名	6名 (3名)	4名 (1名)	0名 (0名)
編入学（推薦入試）	10名	8名 (8名)	9名 (9名)	9名 (9名)
私費外国人留学生特別選抜	若干名	1名 (0名)	2名 (0名)	1名 (0名)

※（ ）内は、うち県内者数を掲載。

※県内・県外の別については、修学している者においては高等学校、大学等所在地による。

2. 出願期間

平成25年11月1日（金）～平成25年11月7日（木）

3. 試験日程等 場所：島根県立大学浜田キャンパス

<11月23日（土）>

全国一般推薦入試、編入学、私費外国人留学生特別選抜

- ・受験者入室 9:00～9:30
- ・受験上の注意 9:30～10:00
- ・小論文試験 10:00～11:30（90分）
- ・昼食、休憩 ～12:40
- ・注意事項連絡 12:40～13:00
- ・個別面接 13:00～17:00頃（各受験生の面接時間は約20分間）

< 12月8日(日) >

県内一般推薦入試

- ・受験者入室 9:00～9:30
- ・受験上の注意 9:30～10:00
- ・小論文試験 10:00～11:30 (90分)
- ・昼食、休憩 ～12:40
- ・注意事項連絡 12:40～13:00
- ・個別面接 13:00～16:10頃 (各受験生の面接時間は約20分間)

4. 取材対象及び取材会場

全国一般推薦入試、県内一般推薦入試における小論文試験<大講義室1>

5. 取材上の注意事項

- ・取材を希望される報道機関は、11月23日(土)、12月8日(日)両日も9時30分に本部棟1F 玄関ロビーにご集合ください。
- ・試験室内の取材時間は、9時35分から9時40分までとします。
- ・受験生への個別取材はお断りします。
- ・試験室内での取材は、映像及び写真撮影とします。
- ・受験者本人が特定される撮影はお控えください。
- ・その他取材に当たっては、本部係員の指示にしたがってください。
- ・小論文試験問題は、各試験実施日の11時30分に本部棟1F 玄関ロビーでお渡ししますので、ご希望の場合は、お集まりください。

6. 確定受験者数の発表

島根県立大学ホームページで発表します。

(<http://hamada.u-shimane.ac.jp/admission/data/>)

- ・全国一般推薦入試、編入学、私費外国人留学生特別選抜の受験者数
平成25年11月23日(土) 午前11:00頃
- ・県内一般推薦入試の受験者数
平成25年12月8日(日) 午前11:00頃

7. 合格発表日

- ・全国一般推薦入試、編入学
平成25年11月29日(金) 午前10:00
- ・県内一般推薦入学
平成25年12月13日(金) 午前10:00
- ・私費外国人留学生特別選抜
平成26年1月17日(金) 午前10:00

8. 取材対応担当者

(11/23) 島根県立大学事務局 教育研究支援部長 齋藤裕幸

(12/8) 島根県立大学 事務局長 小室 僚

(電話) 0855-24-2203

平成25年11月13日
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス
教務学生課 三谷・矢富

平成26年度 島根県立大学短期大学部（専攻科） 入学者選抜試験実施状況

試験日時 平成25年11月9日(土) 9:30～
試験会場 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス（出雲市西林木町）
選抜区分 専攻科（推薦入試、社会人特別入試、地域特別入試）
試験概要 小論文試験(9:30～11:00)・面接試験(12:00～16:00頃)

専攻科の受験者等の状況

選抜区分	募集人員	志願者		受験者		合格者	
			(うち男)		(うち男)		(うち男)
公衆衛生看護学	一般入試	30名	()	()	()	()	()
	推薦入試	13名以内	16 (0)	16 (0)	()	()	
	社会人特別入試	5名以内	3 (1)	3 (1)	()	()	
	計	—	19 (1)	19 (1)	()	()	
助産学	一般入試	18名	(—)	(—)	()	()	
	推薦入試	7名以内	11 (—)	11 (—)	()	()	
	地域特別入試	2名以内	3 (—)	3 (—)	()	()	
	石見AO入試	4名以内	4 (—)	4 (—)	4 (—)	()	
	計	—	18 (—)	18 (—)	4 (—)	()	
計	—	37 (1)	37 (1)	4 (0)	()		

※公衆衛生看護学専攻：「推薦入試」「社会人特別入試」の募集人員は「一般入試」30名に含まれます。

※助産学専攻：「推薦入試」「地域特別入試」「石見AO入試」の募集人員は「一般入試」18名に含まれます。

※助産学専攻は、女子に限られます。

※石見AO入試については、9月27日(金)に合格発表を行っています。

【出願者の内訳】

< 推薦入試 >

①公衆衛生看護学専攻(出身看護師養成所別)

受験者内訳 県内：15名 県外：1名

②助産学専攻(出身看護師養成所別)

受験者内訳 県内：7名 県外：4名

< 社会人特別入試 >

公衆衛生看護学専攻(出身看護師養成所別)

受験者内訳 県内：0名 県外：3名

< 地域特別入試 >

助産学専攻(出身看護師養成所別)

受験者内訳 県内：1名 県外：2名

【過去の受験状況】

選抜区分	平成25年度			平成24年度			
	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	
公衆衛生看護学	一般入試	25 (2)	24 (2)	15 (2)	34 (2)	34 (2)	17 (0)
	推薦入試	15 (3)	14 (3)	13 (3)	15 (2)	15 (2)	13 (2)
	社会人特別入試	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
	計	42 (5)	40 (5)	30 (5)	51 (4)	51 (4)	31 (2)
助産学	一般入試	31 (—)	29 (—)	10 (—)	35 (—)	35 (—)	8 (—)
	推薦入試	13 (—)	13 (—)	7 (—)	12 (—)	12 (—)	7 (—)
	地域特別入試	6 (—)	6 (—)	2 (—)	4 (—)	4 (—)	2 (—)
	石見AO入試	2 (—)	2 (—)	1 (—)	3 (—)	3 (—)	2 (—)
	計	52 (—)	50 (—)	20 (—)	54 (—)	54 (—)	19 (—)

合格発表 平成25年11月15日(金) 午前10時～
島根県立大学短期大学部出雲キャンパス 中庭掲示板に掲示

専攻科一般選抜試験の予定

- ①出願期間 平成25年11月18日(月)～11月22日(金)
- ②試験日 平成25年11月30日(土)
- ③試験会場 島根県立大学短期大学部出雲キャンパス（出雲市西林木町）
- ④試験内容 学力試験（看護学、英語）、面接試験

平成25年11月13日
 島根県立大学短期大学部
 松江キャンパス 教務学生課 古満 ことま
 TEL: 0852-20-0215
 FAX: 0852-21-8150

平成26年度島根県立大学短期大学部（健康栄養学科・保育学科・総合文化学科）
 推薦入学、自己推薦入学及び社会人特別選抜の志願状況について

- 1 試験日 平成25年11月16日（土）・17日（日）
 2 選抜方法 小論文、面接
 3 入学定員・募集人員・志願者数

学科	入学定員	推薦入学					自己推薦入学									社会人特別選抜			志願者合計 (A+B+C)			
		募集人員	志願者数 (A)			募集人員	志願者数 (B)						募集人員	志願者数 (C)								
			県内				県内			県外				計			男 女 計					
			男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計
健康栄養学科	40	10	1	16	17											1名以内	0	0	0	1	16	17
保育学科	50	15	1	20	21	7	2	15	17	1	15	16	3	30	33	1名以内	0	0	0	4	50	54
総合文化学科	140	40	4	44	48	30	2	16	18	4	31	35	6	47	53	3名以内	0	0	0	10	91	101
計	230	65	6	80	86	37	4	31	35	5	46	51	9	77	86		0	0	0	15	157	172

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

- 4 試験日程 試験会場開扉 9:00
 受験者試験室入室 9:00～ 9:45
 連絡・注意 9:45～10:00
 小論文 10:00～11:30
 昼食・休憩 11:30～12:30
 面接 13:00～18:00頃

- 5 合格発表 平成25年11月29日（金）13:00

- 6 参考 昨年度（平成25年度）の志願状況

学科	入学定員	推薦入学					自己推薦入学									社会人特別選抜			志願者合計 (A+B+C)			
		募集人員	志願者数 (A)			募集人員	志願者数 (B)						募集人員	志願者数 (C)								
			県内				県内			県外				計			男 女 計					
			男	女	計		男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	男	女	計
健康栄養学科	40	10	1	10	11											1名以内	0	5	5	1	15	16
保育学科	50	15	3	21	24	7	1	17	18	0	15	15	1	32	33	1名以内	0	1	1	4	54	58
総合文化学科	140	40	3	41	44	30	4	3	7	1	23	24	5	26	31	3名以内	0	0	0	8	67	75
計	230	65	7	72	79	37	5	20	25	1	38	39	6	58	64		0	6	6	13	136	149

※「県内」「県外」の別は出身高校による。

【試験当日の取材に当たってのお願い】

- 1 事務室教務学生課で資料と腕章をお渡しします。取材に当たっては、腕章を着用してください。
 2 撮影を許可する小論文試験室は、大講義室です。記者の皆さんの試験室への立ち入り撮影は、9時45分から試験開始直前の9時55分までとします。
 3 試験室内での撮影は、係員の指示に従って（受験生の後方から）撮影してください。
 4 当日の受験者数（小論文試験）が確定するのは、11時頃となります。

平成 25 年 11 月 13 日 (水)
 担当：出雲キャンパス事務室
 1…管 理 課：岩成
 2…教務学生課：三谷
 電話：0853-20-0200 (代)

島根県立大学出雲キャンパスの各種行事について

平成 25 年 12 月 1 日 (日) に下記の行事を行いますので、お知らせします。

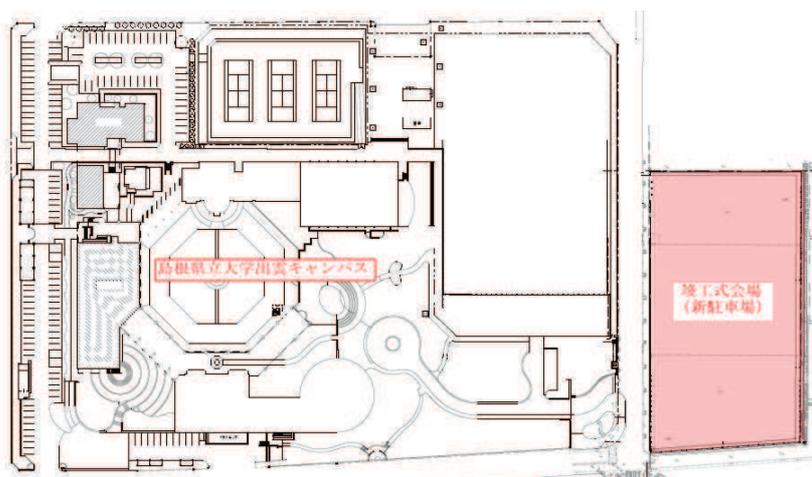
記

1. 新駐車場竣工式

出雲キャンパスでは四年制看護学部の開設に伴う学生・教職員の増加に対応するため、本年 4 月から新駐車場整備工事を行ってきましたが、11 月末竣工の運びとなりました。

これにともない下記により新駐車場竣工式を挙ります。

- 1) 日 時 平成 25 年 12 月 1 日 (日) 12 : 00 ~ 12 : 30
- 2) 場 所 出雲キャンパス東側 新駐車場
- 3) 出席者 島根県、出雲市、工事関係者、地元関係者、学生、後援会、大学関係者等約 50 名
- 4) 新駐車場の概要
 - ①面 積 約 6, 000 m²
 - ②駐車台数 200 台



2. 秋山 仁 特別講演会

学生のリメディアル教育の一環として、学生の学ぶ意欲や科学的思考を涵養します。

- 1) 演 題：「君の頭に発想の泉を掘り起こせ」
- 2) 日 時：平成 25 年 12 月 1 日 (日) 14 : 00 ~ 15 : 30
- 3) 場 所：島根県立大学出雲キャンパス 2 号館 3 階 大講義室
- 4) 主催者：島根県立大学出雲キャンパス つわぶき後援会
- 5) 参加者：島根県立大学出雲キャンパス 学生、保護者、教職員約 300 名
- 6) 講 師：

秋山 仁 (あきやま じん) 1946 年 10 月東京都生まれ、理学博士、数学者
 東京理科大学理数教育研究センター長、近代科学資料館長、
 数学体験館長ほか多数の役職に就任中。その他略歴は別添のとおり。

- 7) その他：

この講演会には、一般の方の参加はできません。

秋山仁先生特別講演

日本テレビ「世界一受けたい授業」やNHK教育テレビ「数学講座」等にご出演され、多数の書籍も出版されている、秋山仁先生をお招きして講演会を開催します。

演題：『君の頭に発想の泉を掘り起こせ』

日時：12月1日（日）14：00～15：30

会場：島根県立大学 出雲キャンパス2号館
3階 大講義室

主催：つわぶき後援会

一般の方の参加はできません。

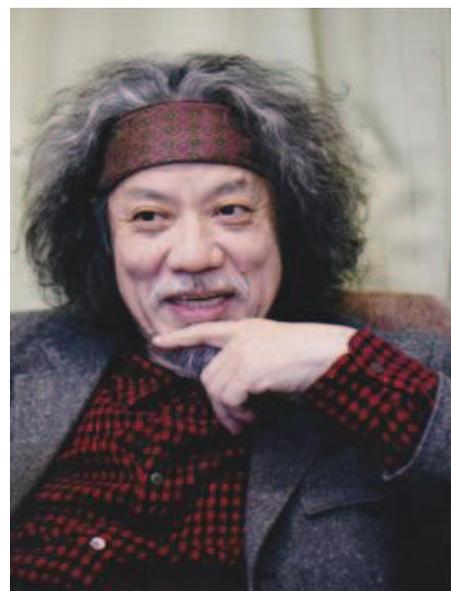
秋山仁（あきやま じん）

1946年10月 東京都生まれ
理学博士、数学者

- ・東京理科大学理数教育研究センター長
- ・近代科学資料館長
- ・数学体験館長
- ・中国南開大学客員教授
- ・(NPO)体験型科学教育研究所理事長
- ・(社)全国幼児教育研究協会理事
- ・日本文藝家協会会員
- ・京都芸術高校名誉校長
- ・NHKラジオ・テレビ講座講師
- ・アコーディオン奏者

<略歴>

東京理科大学応用数学科卒業、上智大学大学院数学科を修了後、ミシガン大学数学客員研究員、米国AT&Tベル研究所科学コンサルタント（非常勤）日本医大助教授、東海大学開発研究所所長、科学技術庁参与、文部省教育課程審議会委員などを歴任。



平成 25 年 11 月 13 日
 担当：出雲キャンパス
 1・2…管理課：岩成奈々恵
 3…看護学部：別所史恵
 電話：0853-20-0200（代）

島根県立大学出雲キャンパス 防災力向上の取り組みについて

出雲キャンパス学生及び教職員が災害への備えや防災力の向上を図るため、以下の取り組みを実施します。

1. 地域防災研修会 ～災害時に自分ができること～

出雲市における災害体制・対策の状況、災害時における『自助（自分の命は自分で守ること）』『共助（自分たちの地域は自分たちで守ること）』の重要性及び大学が避難所となった場合の避難所運営方法を学ぶ。

（1）講演の部「出雲市の防災体制・自助・共助・公助について」

日 時：平成 25 年 11 月 20 日（水） 13：10～14：10

講 師：出雲市総務部 防災安全管理監

場 所：出雲キャンパス 大講義室

参加者：看護学部 1・2 年次生、短大部看護学科 3 年次生、公衆衛生看護学専攻科生、教職員 計 260 名

（2）実践の部「HUG～避難所運営シミュレーション訓練」

日 時：平成 25 年 11 月 20 日（水） 14：20～16：20

講 師：出雲市（防災安全課・市民活動支援課）、出雲市男女共同参画まちづくりネットワーク会議

場 所：出雲キャンパス 体育館

参加者：短大部看護学科 3 年次生（希望者）、公衆衛生看護学専攻科生、教職員 計 130 名

2. 緊急時対応ポケットマニュアル

災害時における『自助』の一環として、地震・事件・事故などの緊急時にどのように行動すればいいのか、家族や大学への安否連絡方法、日頃の備えなどをまとめた携帯型の『緊急時対応ポケットマニュアル』を作成し、11 月 20 日（水）の防災研修会で学生及び教職員に配布する。

3. 災害看護招致講義

南海トラフの地震の基礎的な知識を得て、医療従事者として大震災への備えを考える機会とする。

演 題：「東日本大震災に学ぶこれからの地震対策～南海トラフ巨大地震に備えて～」

日 時：平成 25 年 12 月 4 日（水） 10：40～12：10

講 師：岡村 眞（おかむら まこと） 高知大学総合研究センター特任教授、
高知大学南海地震防災研究支援センター長（兼任）

場 所：出雲キャンパス 大講義室

参加者：短大部看護学科 3 年次生（77 名）、その他看護学部生、専攻科生及び教職員（希望者）

参 考

1. 出雲キャンパスは、出雲市地域防災計画に基づく避難所開設予定施設。
2. 避難所運営ゲーム HUG とは、H（hinanzyo 避難所）、U（unei 運営）、G（game ゲーム）の頭文字を取ったもので、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム。（避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が開発したもの）